202409KeMCo sent

View report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

Ke
M
Co

世の中は夏休みシーズンです。KeMCoも次回展覧会準備で休館中ですが、元気いっぱいでアウトリーチ活動やSNSを更新中。活動のもようをご紹介します。

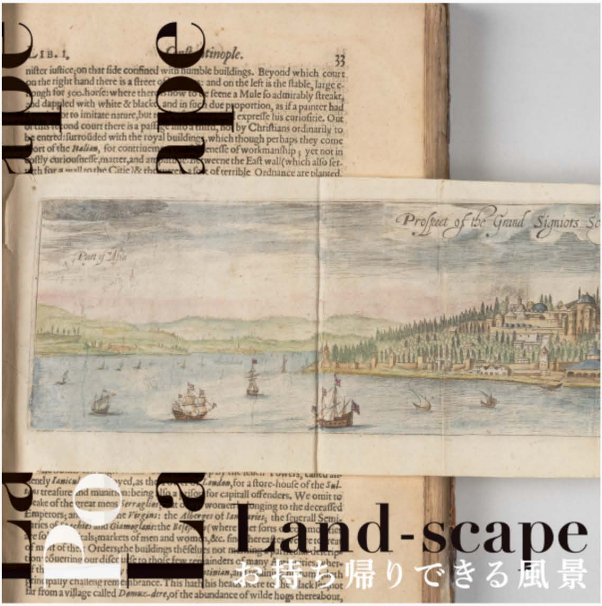
KeMCoの近況

「三原聡一郎　レシピ：空気の芸術」が閉幕しました

「三原聡一郎　レシピ：空気の芸術」展は8月3日（土）を持って好評のうちに閉幕しました。
最終日であり土曜特別開館となった8月3日（土）には、アーティスト・三原聡一郎さん「達」によるトークも開催し、たくさんの方々にご参加いただきました。
展示の一部に植物を取り入れていたこともあり、定期的にメンテナンスや入れ替えを行い手を入れ続け、まさに成長し続ける展覧会となりました。
ご来場いただいたみなさまには厚くお礼を申し上げます。

三原聡一郎　レシピ：空気の芸術

【次回展】Land-scape－お持ち帰りできる風景


Land-scape
お持ち帰りできる風景
Prospect of the Grand Signiors Se

四季のめぐりとともに常に変化し続ける風景を楽しむために、古くから現代まで、私たちは風景の在る場所に絶え間なく足を運んできました。その一方で、中世より、書物や版画、そして写真といった複製技術を用いて、動かぬ風景の諸相を再構築し、再創造する営みを続けてきました。
本展覧会は、西洋中世の写本装飾に見る風景前史から始まり、近代旅行記が伝えた異国の風景、理想風景とグランド・ツアー、ピクチャレスクの旅、葉書で送られる風景といった7つのテーマのもと、写本や稀覯本（きこうぼん）、版画や写真、絵葉書や旅の道具などの紹介を通じて、みなさんを「お持ち帰りできる風景」を巡る旅にご招待します。

「Land-scape－お持ち帰りできる風景」
会期｜2024年10月7日（月）～12月6日（金）［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜10月19日（土）、11月23日（土）
臨時休館｜10月21日（月）、11月25日（月）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
協力｜慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学三田メディアセンター

シンポジウムを開催します

本展覧会企画者（松田隆美、桐島美帆） とゲストによるシンポジウムを開催します。
要事前申し込みで、予約申し込みは**9月27日（金）**より開始します。申し込み方法等はウ

エブサイト、SNS等でお知らせします。

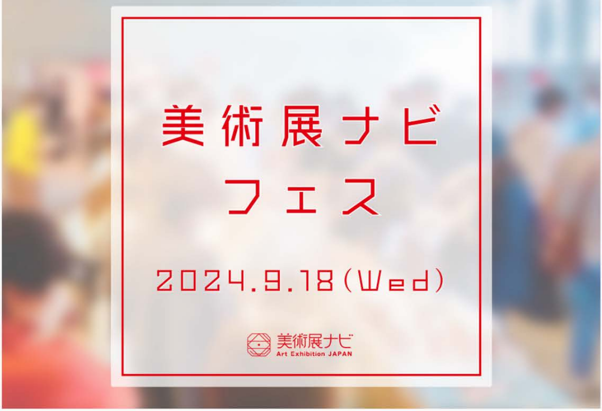
公開シンポジウム「Land-scape: お持ち帰りできる風景」
日付｜2024 年10 月19 日（土） 午後
場所｜慶應義塾大学三田キャンパス
内容｜本展覧会企画者（松田隆美、桐島美帆） とゲストによるシンポジウム
登壇者｜
大石 和欣（東京大学総合文化研究科教授）
杉村 浩哉（栃木市立美術館館長）
松田 隆美（慶應義塾大学名誉教授）
桐島 美帆（慶應義塾大学アート・センター学芸員）

Land-scape－お持ち帰りできる風景

令和6年度文部科学省「こども霞が関見学デー」に参加しました

福澤先生と、東京工業高等専門学校のキャラクター「はざまる」
どちらも３Dモデルで、ツヤっとした質感が抜群のかわいさ！

8月7日（水）・8日（木）に「令和6年度文部科学省こども霞が関見学デー」にKeMCoが参加しました。KeMCoのブースでは、グリーンバック撮影、御朱印スタンプ、インスタフィルターなどをお楽しみいただきました。
会場にはKeMCo以外にもたくさんのミュージアムが参加しました。夏の思い出のひとつとして、ミュージアムをより身近なものと感じていただけましたら幸いです。

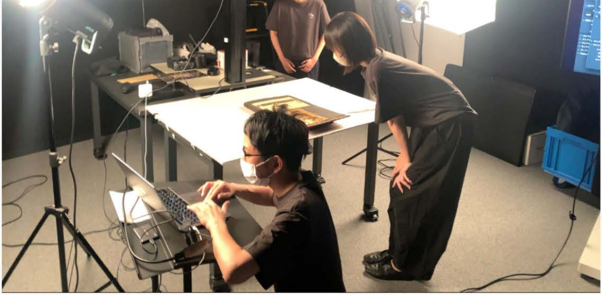


「美術展ナビフェス」に参加します

9月18日（水）に、大手町のよみうり大手町小ホールで開催されるイベント「美術展ナビフェス」にKeMCoが参加します。
KeMCoのブースでは、オリジナルグッズやこれまでに発行した展覧会カタログをご紹介します。これらは「美術展ナビオンラインストア」で他館のグッズとあわせてご購入いただけます（会場での対面販売はございません）。グッズ展示のほかにも、デモンストレーションを予定しています。
イベントご入場には事前ご予約が必要です。ウェブサイトにて詳細をご確認ください。

美術展ナビフェス

Open StudI/O! #09



4月よりKeMCoで働き始めました、学芸員の大前です。よろしくお願いいたします。
KeMCoでは、去る7月23日（火）24日（水）の2日間「KeMCo StudI/O撮影オープンデイ」を開催いたしました。KeMCo StudI/Oでは、定期的に文化財撮影を専門とする写真家をお呼びして高解像度カメラでの資料撮影を行っていますが、「撮影オープンデイ」はこの撮影の機会を義塾の教職員の方々とシェアし、交流を行うイベントです。3回目の開催となる今回は、8名の方々にご参加いただきました。
撮影対象はさまざまで、カメラを真上から構え、平面のものを撮影する1日目は、戦前の古写真、版画、画集などの撮影を行い、2日目はカメラを斜めから構えて撮る立体撮影の日で、ヴィンテージのオートクチュールの服、慶應義塾オリジナルグッズの撮影を行いました。一億画素の高精細で画の詳細まで捉え、機材の揃ったスタジオならではの工夫によって物のもつ存在感や造形の力を際立たせることで、今回も多岐にわたる資料の撮影にお応えしました。
「オープンデイ」では撮影希望の方だけでなく、見学の方（学生さんも参加できます）も歓迎しています。文化財撮影の現場に立ち合い、写真資料保存についてもお話を伺える貴重な機会です。来年度も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

大前 美由希（KeMCo学芸員）

空き地

KeMCoは現在、次回展覧会の準備のため休館中ですが、ソーシャルメディアプラットフォーム「note」は絶賛更新中です。主に学生スタッフ「KeMiCo」が執筆を担当しています。今回は、noteの中でもひときわ異彩を放っている連載「**ケムコ！ふしぎ発見！**」を紹介します。

ケムコ！ふしぎ発見！「プカプカ島滞在日記」
KeMCoの学生スタッフで、民族学考古学専攻の学生が、南太平洋の孤島・プカプカ島でのフィールドワークの様子をレポートしています。
「プカプカ島」という名前を初めて聞いた…という方も多いのではないでしょうか。プカプカ島は、クック諸島に属する島のひとつ。日本人にとってはなかなか縁遠いプカプカ島での調査を現地の方々の生活の様子も含めて記録したnoteは、将来的には貴重な記録になるかもしれない？とKeMCo内でも話題です。
ちなみに、執筆している学生によると「すごくテンションが高いときに書いていた」そうです。異文化を楽しみつつ、時には翻弄されつつ…KeMiCo Otaの冒険を、最後まで見届けてください！（なお、彼は現在無事に帰国し元気に過ごしておりますのでご安心を…）

眞下 菜穂（KeMCo）

プカプカ島滞在日記

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

Now and Then 貨幣から見えてくる時代～新紙幣発行記念～
前期：7月8日（月）～ 8月6日（火）
後期：8月20日（火）～ **9月21日（土）**
会場：慶應義塾図書館展示室

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2024*年*10*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2024 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan